

# 会計人の教養

# 6



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院 熊本校

## 朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p><b>進行役</b>：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

29 28 27 26 25 24 22 21 20 19 18 17 15 14 13

土 金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 月 土 金 木

正しい情報  
平成  
フレミング  
ペイペイ  
外国税額控除  
コンチエルト  
失敗は成功のもと  
エナジードリンク  
百年戦争  
元素  
健康診断  
赤信号  
バタフライ効果  
水中ドローン  
火炎太鼓

15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

あなたが他人にしてあげる  
最も偉大なことは、その人の  
持っている素晴らしさを示して  
あげることだ

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

# 2019 JUNE

令和元年 水無月[みなづき]

第5巻06号(通算48号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

インターネットの普及によつて、情報伝達的手段が新聞、雑誌、ラジオ、テレビなどの媒体から、インターネットを媒体としたものへと急速に移行しています。

日本新聞協会の調査では、新聞の発行部数は二〇〇〇年から二〇一八年にかけて約二十五パーセント減少しているようです。

インターネットでの情報収集は、スピード、情報量、コストなど様々な面で優れており、自分が興味を抱いた分野について、多くの情報を手軽に入手することができます。しかし、インターネット上の情報は膨大であるが故に、正しい情報と誤った情報が入り混じっていることから、利用者側の適切な取捨選択が必要になります。

また、信頼性が高いといわれる新聞であっても、その情報を鵜呑みにすることには注意が必要です。どのような情報にも、その情報の発信者の主観が少なからず介入します。同じ事柄についても、すべての情報は人の手を通っている以上、世の中の情報に完璧な客観性は存在しないことになります。

このような情報社会を生きる私たちに必要な能力は、物事を多面的、俯瞰的に捉えることで本質を見極め、次の行動に反映していくことではないでしょうか。

今日の心がけ◆自分の頭でじっくりと考えましょう。

「平成」が終わり「令和」に変わりました。みなさんにとって、平成の三十年間はどのような時代だったでしょうか。

国内で起こった事件では、地下鉄サリン事件・秋葉原通り魔事件・和歌山毒物カレー事件が印象に残っている事件として挙げられています。また、阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨など様々な災害が起きました。

さらに、インターネットなどの普及により、SNSが急速に発達しました。中でも、スマートフォンなどの携帯電話の開発は画期的な発明で、もはや私たちの生活に欠かすことができない存在になりました。

スポーツ界では、なでしこジャパンのW杯優勝、長野五輪のスキージャンプ団体男子金メダル、大リーグでのイチロー選手のシーズン最多安打、シドニー五輪の高橋選手の女子マラソン日本初の金メダルなど、私たちにたくさん希望を与えてくれました。

「令和」という新しい時代は、どのような時代になるのでしょうか。希望に満ちた素晴らしい時代になるといいですね。

今日の心がけ◆新しい時代に期待しましょう。

中学生の頃に、電流の向き・磁界の向き・力の向きの三関係を、左手をねじる形で覚えたい方は多いのではないだろうか。この覚え方は、イギリスの物理学者ジョン・フレミングによつて考案され、「フレミングの左手の法則」と呼ばれています。

フレミングは三十五歳の頃、ロンドン大学で電気工学科の教授に就任しました。教鞭をとる中で、モーターや発電機などに生じる「ローレンツ力」や、「電磁誘導」などの仕組みを覚えられない学生が多くいることに気づきます。

そこで彼は、これらの関係を視覚的にイメージしやすくするために、手を使って覚える方法を考案したのです。

複雑な仕組みを簡単に覚えられるこのアイデアは、すぐに世界中に広まり、現在でも教育の場で活用されています。

誰でも、このようなアイデア一つで、困っている人を助けることができます。発想力を磨いて、多くのアイデアを生み出しましょう。

今日の心がけ◆ひらめきの力を磨きましょう。

みなさんは、スマホ決済アプリ「ペイペイ」をご存知でしょうか。

ペイペイは、ソフトバンクとヤフーが共同出資し設立したPayPay株式会社が運営するQRコード・バーコード決済サービスで、昨年十月からサービスを開始しました。

メリットとしては、現金を持たずにスマホの画面を見せるだけで即時決済ができ、コンビニをはじめ、総合スーパーやドラッグストア、また、飲食店などで利用できるクーポンや利用額ごとの還元キャンペーンも行われています。

デメリットとしては、まだまだ利用できるお店が少ないことや二万円以上の決済ができない場合があるなど、大きな買い物に向いていないことが挙げられます。

このように、これからさらに電子上の取引が増えていくと思います。みなさんも、ペイペイを利用してみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆ペイペイを使ってみましょう

## 外国税額控除

みなさんは、外国税額控除という制度をご存知でしょうか。

日本人や日本企業が稼得した所得は、日本のみならず、海外まで含めた「全世界所得」に対して税金が課せられます。そのため、海外との取引により、海外の法律に基づき納めた場合には、同じ所得に対して日本と海外の両方の税金を納めることになります。

この国際的な二重課税を排除するための制度が外国税額控除です。

この制度は、海外で所得を得ない限り適用されないため、日本国内のみで勤務しているサラリーマンや、海外に進出していない日本企業では利用することはありません。

しかし、グローバル化が急速に加速している今日にあつては、海外に進出する企業も多くなっているため、今以上にグローバル化が進み、外国税額控除を利用するケースが増加することが想定されます。

そのためにも、今のうちから外国税額控除を学んでおきましょう。

今日の心がけ◆外国税額控除を学びましょう。

コンサートは、日本語で協奏曲と翻訳されています。

協奏曲とは、クラシック音楽のことで、ピアノやバイオリンなどの独奏楽器と、オーケストラと一緒に演奏されます。

人の声を用いず、楽器のみで演奏をする「器楽曲」の一つであり、曲の途中で「ガデンツァ」と呼ばれるソロ演奏が行われるため、個々の楽器の良さを感ずることが出来ます。

また、テレビなどでも、バックグラウンドミュージックとして曲の一部が流れていることもあるため、みなさんが聞いたことのある曲も多いのではないかと思います。

私たち学生は、歌のない楽曲を聴くことはあまりないかと思います。ときには、楽器本来の良さに焦点を当てた「コンサート」を聴いてみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆コンサートを聞きましよう。

## 失敗は成功のもと

失敗は成功のもととは、「何か失敗しても、その原因を反省し、改善していくことで、成功につながる」という意味があります。

私は試験や日々の学習をする際に、どうしてもケアレスミスをすることがあります。そのときは、気をつけるためミスは減りますが、気を抜くと同じミスをしてしまいます。

このような失敗を繰り返すことで、どうしても不安になり、また失敗をしてしまうのではないかと心配になってしまいます。以前はそこで諦めてしまうことすらありました。

しかし、失敗を重ねる中で、多くの気づきがあり、それが将来の成功につながることを知りました。それから私は失敗をした際に、なぜうまくいかなかったのか。どのような改善できるのかなどを徹底的に考えるようにしました。

このように、何かに行き詰まって失敗したときこそ、納得いくまで考え、改善していくことで成功につながっていくと感じています。

今日の心がけ◆失敗から学びましょう。

みなさんは、エナジードリンクを飲んでいますか。徹夜や疲れたときなどに飲むのではないのでしょうか。

厚生労働省が定めた定義では、炭酸を配合した清涼炭酸水になります。ビタミンと似た働きをする成分を含んでいるため、病気の予防や健康維持の効果が期待されます。

エナジードリンクにはカフェインが入っているため、自律神経の交感神経に作用して、体内の様々な機能が高まり元気になります。特に、会議やプレゼンなどの大事な場面では効果が期待できます。

しかし、疲れそのものが取れたわけではないので、元気を前借りしているような状態です。そのため、飲み続けていると、どこかでひずみが生じる可能性があります。

私たちCPAの学生は、毎日遅くまで学業に励むあまり、エナジードリンクの飲み過ぎには気をつけましょう。

今日の心がけ◆エナジードリンクはほどほどにしましょう。

イギリス王朝とフランス王朝の王位継承と領有権を巡り、約百年以上にわたって行われた戦争を、百年戦争といえます。現在のイギリスとフランスの国境は、この戦争をきっかけに築かれたといわれています。

百年戦争の終盤に登場した、最も有名な人物といえばジャンヌ・ダルクです。彼女は、フランスを勝利に導いた「聖女」と呼ばれています。

ジャンヌは、農夫の娘で、十三歳のときに聞いた神のお告げをきっかけに、敗戦国の予言を的中させ、軍と王太子の信用を獲得し、戦争の際には、軍旗を掲げ、先頭に立って突撃しました。

しかし、敵国であるイギリスに拘束されてしまいます。当時十九歳だったジャンヌは、その後宗教裁判にかけられ、異端者として火あぶりの刑に処されました。

歴史人物の中には、私たちと同じ年で活躍してきた人物がたくさんいます。調べてみると面白いかもしれませんね。

今日の心がけ◆歴史人物を調べましょう。

多くの方が、「スイヘイ、リーベ、僕の船…」と歌いながら、元素記号を覚えた経験があるのではないのでしょうか。

この世界のあらゆるものは、元素でできています。例えば、「水」は水素(H)と酸素(O)の化合物であり、「食塩」はナトリウム(Na)と塩素(Cl)の化合物です。さらに、それらの化合物を組み合わせると、「食塩水」という混合物になります。

人類は元素を利用することで、鉛筆の芯やアルミホイル、リチウムイオン電池など、多くの製品を生み出してきました。

また、二〇一六年には、日本で発見されたニホニウム(Nh)が新元素として正式登録され、今後の応用研究が期待されています。

私たちにとって元素は専門外の領域ですが、興味を持って調べることで視野を広げていきましょう。

今日の心がけ◆元素について調べましょう。

健康診断は、誰もが一度は経験したことがあるのではないのでしょうか。

現在では、学校でも会社でも健康診断を行うことが当たり前となっていますが、学校に健康診断が導入されたのは明治時代からです。また、諸外国では健康管理は各自で行うという認識が強く、日本の健康診断制度は珍しいようです。

健康診断の目的として、「診断結果から生活習慣の改善をし、病気を予防すること」「病気を早期に発見し、早期治療につなげること」などが挙げられます。

しかし、健康診断を受けることに満足し、少々結果が悪くても大変な状態にまで悪化しない限り、放っておく人が多いようです。結果が少しでも悪い場合には、医療機関に相談することも一つの手段です。また、面倒であつても二次検査を受診することも大切です。

健康はお金で買えるものではありません。日頃から自分の体を大切にし、健康的な生活を心がけましょう。

今日の心がけ◆健康的な生活を心がけましょう。

みなさんは、赤信号について深く考えたことはありますか。赤信号は、「停車位置から進んではいけない」という意味が込められているのは当然ですが、赤信号に工夫がなされていることをご存知でしょうか。

信号機は、左から青、黄色、赤と二つ並んでいます。この二つの色の中で、一番重要性が高いものが、危険の意味を表す赤信号です。そのため、重要な色の赤を道路の端から中央寄りに置くことで、ドライバーに見やすくなるよう工夫されています。

一般的にはドライバーが右側に座っているので、赤信号も右側にあつたほうがより注意を促すことができます。

このように、赤信号には配慮や工夫がなされています。これを機に、みなさんも普段気にしないことに目を配ることで、何か新しい発見があるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆身近なことに関心を持ちましょう。

## バタフライ効果

みなさんは、バタフライ効果というものをご存知でしょうか。

バタフライ効果とは、米国の気象学者エドワード・ローレンツ氏が一九七二年に行った「ブラジルでの蝶のはばたきがテキサスに竜巻を引き起こすのか」という講演のタイトルに由来しています。

これは、初期時点における極めて小さな誤差が、時間の経過とともに大きな影響として現れるというものです。ローレンツ氏がコンピュータ上で物理学の方程式により、将来の天候を予測しようとしたときのことです。

ある入力値について「0.506」と「0.506127」とした場合では、わずかに「0.000127」の違いであるにも関わらず、長期的には大きな差となり、全く異なる計算結果になったそうです。

この効果は私たちの学習や生活にも当てはまるものです。大きな成功にも、大きな失敗にも、日々の小さな出来事に原因があります。ほんの些細なことの集積が、将来に大きな影響を及ぼすということを肝に銘じ、毎日を大切に過ごしましょう。

今日の心がけ◆小さなことをコツコツと積み重ねましょう。

みなさんは、水中ドローンをご存知でしょうか。

水中ドローンとは、通常のドローンと同じように無人機で遠隔操作が可能ですが、水中・海底状況などを調査、撮影することを主な目的とした機械です。

この機械の登場により、水中調査の人手不足の解消、コストカット、作業時間の短縮など多くのメリットがあります。また、水生生物の生態調査への活用も期待されており、ダイバーでは調査が難しい狭い空間やサメなどの危険生物の映像を撮影することが可能です。

さらにユニークな活用例としては、大分県の水族館「うみたまご」が、昨年夏休みの期間限定イベントとして、水中ドローンとスマートフォンの新アトラクションを公開しました。水中ドローンの映像をスマートフォンで共有することができ、魚たちの様子をより近くで観察し、スクリーンショットで手軽に水中撮影を楽しめます。

私たちも、テクノロジーの進化に会計力で貢献していきましょう。

今日の心がけ◆身近なテクノロジーの進化を実感しましょう。

みなさんは、火焰太鼓を聞いたことがありますか。火焰太鼓とは、江戸時代から伝わる小話を、明治末期、昭和初期に仕立て直し、現在では落語の演目の一つとなっています。

お調子者で商い下手な古道具屋の店主は、儲けの出る話であつても正直が故に余計なことを話してしまうため、なかなか商売に結び付けることができませんでした。そのため、店としては不利益を被っていました。

しかし、ある日その店主が市場にある太鼓を仕入れてきます。女房などからは、「古くて汚い太鼓」と散々言われたようですが、この古くて汚い太鼓の音色が殿様の耳に入つたことで、思いがけず大儲けしてしまいます。

この小話の最後には、調子のよくなった店主が、半鐘を買つて一儲けしようとしたところ、女房が一言「半鐘はいけないよ。おジャンになるから。」と言います。

さて、この後店主は半鐘を買ってしまったのでしょうか。みなさんも、楽しい落語の世界に興味を持ってみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆落語を聞きましよう。